



福山市立大学研究生で学び直し!! **連載**

意見広告

村上栄二です。

NEW!



Q 村上栄二

検索

プロフィール

りじょう幼稚園、福山市立新瀬小学校、福山市立誠之中学校、私立近畿大学附属高等学校福山校近畿大学法学部経営法学科を卒業。大学卒業後、有限会社DC開発研究所にて代表取締役のほか、大阪市会議員(1期)を務める。2015年6月からは「地元に戻りたい」という思いで福山に戻る。広島県議会議員。

緊急提案その1 2019年7月10日経済レポートでも提案しています!

地方においてはタクシーによるデリバリー事業で外食を支える事業が必要



- 私の提案(タクシーによるデリバリー事業)が旭川市で実施済。
- 行政主導により「外食宅配」という新しい食文化・ニューノーマルを創るべきだ。

- 1) タクシー宅配を1回当たり1500円負担しても10万回で1億5千万円の予算措置で対応可能。この措置で新たな市場・食文化のキッカゲがつかれる。
- 2) UBER EATSや食品館⇒出前館などは人口密度が高く、ビジネスとして成立する中心市街地のみを対象としている。しかし、タクシー宅配なら地域性は関係なく、新市・神辺・松永などでも実施可能。
- 3) タクシーなら中高年層や女性層も安心。地域事情を熟知しているタクシーならラストワンマイル(お客様へ商品をお届ける物流の最後の区間)も対応可能。
- 4) 「県デリバリー参入促進事業」で福山市では実績報告が1月20日時点で192件あったが導入させて終わりでは経済波及効果は薄い。

■本来ならば、マスコミ報道でデリバリー特集をしていた7月頃に、テイクアウト初期費用に対して、水泡に帰す事なく、市場を創らなければならなかった。しかしながら、今からでも遅くない。新市場を創るくらいの気概でなくては、駅前空洞化は避けられない(駐車場問題も含め)と思うのでチャレンジする価値は十分にある。

緊急提案その2 騒音計測定器によって飲食店で注意をする基準を創る



騒音測定機器やアプリも豊富



- 大声のお客様に対して、店員の感覚で注意する判断は難しい。
- しかしながら、店舗に入り大声で話す人たちを見ると嫌悪感を持つ人などいる以上、店舗にとっては経営に大きな影響を受ける。
- そこで、「大声」を騒音測定器や騒音アプリで計測し、お客様に注意を促すことが必要。福山市飲食店感染症対策衛生費支援事業補助金のひとつに加えるべきではないか?

緊急提案その3 喉を潤す「うがい」ではなく、口の中を綺麗にするうがいが必要

- コロナウイルスは上気道だけではなく、歯ぐきや舌、唾液腺といった口のなかの細胞からも体内に侵入することがわかってきた。
- また、大阪府下5500の歯科病院で患者さんは唾液等を含まれる状況でありながらクラスター発生していない。
- 口腔内の雑菌や食べかすと乾燥した状態がウイルス増殖につながると仮説を立て、基本項目の中に【口の中を綺麗にするうがい】など推進すべきではないか?

【今月のテーマ】村上栄二が緊急提案する「3つのコロナ対策」

賃貸マンション、月極駐車場「空き」あります!

Consort homes

お問合せ

有限会社 DC 開発研究所

☎ 084-999-3166

〒720-0052 広島県福山市東町2-3-2